

平成30年度 近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練の実施

- 実施日時 平成30年11月5日(日)9時30分～11時40分
- 実施場所 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点(堺市堺区匠町3番2)
- 訓練目的 行政及び各防災機関の連携による災害対応能力の向上、基幹的広域防災拠点活動体制確立の促進、震災発生直後における自助・共助の促進、防災啓発の推進
- 訓練内容 津波避難訓練、道路啓開訓練、航路啓開訓練、緊急物資輸送訓練、救出・救護訓練、ライフライン復旧訓練、コンビナート火災消火訓練 他
- 参加機関・参加者 40機関・大塚国土交通副大臣、竹山堺市長をはじめ約800名(小・中学校の避難訓練者4,200名)

開会式



大塚副大臣 主催者挨拶



竹山堺市長 主催者挨拶



北側衆議院議員 来賓挨拶

【大塚副大臣 ご挨拶】

- 「津波防災の日」である本日、堺泉北港基幹的広域防災拠点において、大規模な地震・津波災害の発生時に必要となる訓練が実施されることは、津波対策について皆様の理解と関心を深める上でも、大変有意義である。
- 今年、「大阪府北部地震」、「西日本豪雨」、「台風21号、24号」等の大きな災害に対しテック・フォース緊急災害対策派遣隊の派遣等により、被災地支援に全力を挙げた。
- 特に7月の「西日本豪雨」では、大阪府市長会と連携し、市長会からの救援物資をこの堺泉北港基幹的広域防災拠点に集約し、中部地方整備局から支援に来た大型浚渫兼油回収船「清龍丸」に積み込んで被災地へ輸送するなど、この防災拠点が、大きな役割を果たした。

訓練視察



訓練状況



津波避難訓練



施設点検訓練



道路啓開訓練



航路啓開訓練



緊急物資輸送訓練



救護訓練



コンビナート火災消火訓練

閉会式



黒川局長 挨拶

【黒川局長 ご挨拶】

- 近畿地方整備局では、今後30年以内に70～80パーセントの確率で発生するといわれている、南海トラフ巨大地震への備えとして災害時における基幹的な緊急輸送路となる、近畿自動車道紀勢線の延伸や紀伊半島を縦貫する国道168号等の整備を進めると共に、和歌山下津港海岸津波対策事業等のインフラ整備を進めている。
- さらに、施設整備によるハード対策に加え、「防災訓練」や「航路・道路啓開計画」などのソフト対策の充実に防災関係機関や地元の皆様とともに、取り組んでいく。

平成30年度 近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練 第四回会議

1. 日時 平成30年11月27日(火) 15時00分～16時00分
2. 出席者 訓練参加機関のうち15機関 27名
3. 内容 11月5日(月)に実施した合同総合防災訓練後の意見交換

今年の訓練での反省点や改善すべき点を参加機関から集約しましたが、「見学者などの安全管理体制の拡充」・「参加機関同士での情報共有の徹底」・「会場内での訓練模様放映方法の再考」といった内容が挙がり、来年度の訓練計画を立てるにあたり、貴重な意見交換の場となりました。



平成30年度近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練は、本会議をもって全ての用務が終了しました。ご協力並びにご参加頂きました関係各機関の方々におかれましては大変お世話になり、ありがとうございました。近畿地方整備局ではこの合同総合防災訓練以外にも年2回、職員による防災訓練を今回の訓練会場となりました「基幹的広域防災拠点」において実施しております。それぞれの訓練終了後にも課題等を抽出し、災害対応能力の向上に努めるとともに、今後も訓練実績を積み重ね、来たるべき災害に備えて参ります。